

道総研【農業】分野 研究職に関心をお持ちの皆様

道総研には幅広い専門分野での活躍フィールドがあります。

農学、畜産、酪農、環境、生物等を専攻されている皆様のご参加をお待ちしています!!

こんな取り組みを行っています

作物開発分野



主要農作物(米・麦・豆など)の育成

北海道で生産される米・麦・豆・馬鈴しょなどについて、高品質で安定生産可能な品種開発を行っています。

畜産分野



DNAを利用した道内黒毛和牛の能力診断システム

遺伝子情報から産肉能力などを診断できるシステムを構築しました。これにより、道内の生産者が能力を知りたい牛の毛根などをもとにゲノム育種価の提供を受けることで、生産者が能力を評価できるようになりました。

生産技術分野



赤色LEDで暑さに負けない花づくり技術

秋切りトルコギキョウやアスターでは、近年夏の高温で早期出蕾して切り花長が短くなるなどの品質低下が問題となっています。そこで、赤色LED照明で花芽形成を遅らせ、草丈伸長を促進することにより品質を改善する技術を開発しました。



堆肥と肥料がひとつに! 複合肥料の活用法

化学肥料と同等以上の収量性を確保できる「堆肥入り複合肥料」を活用し、堆肥施用及び追肥の削減技術を開発しました。

農業機械・経営分野



スマート農業技術の導入効果と経済性評価

自動操舵システムを搭載したトラクタやセクションコントロール機能を搭載したスプレーヤー等について、導入効果や投資回収可能な利用面積を明らかにしました。

病害虫分野



青色光でマメシクイガから大豆を守る

ピーク波長450nm前後の青色LEDで圃場全体を照度約1ルクス以上で終夜照射することで、マメシクイガによる大豆子実の被害を抑制する技術を開発しました。



農業研究本部

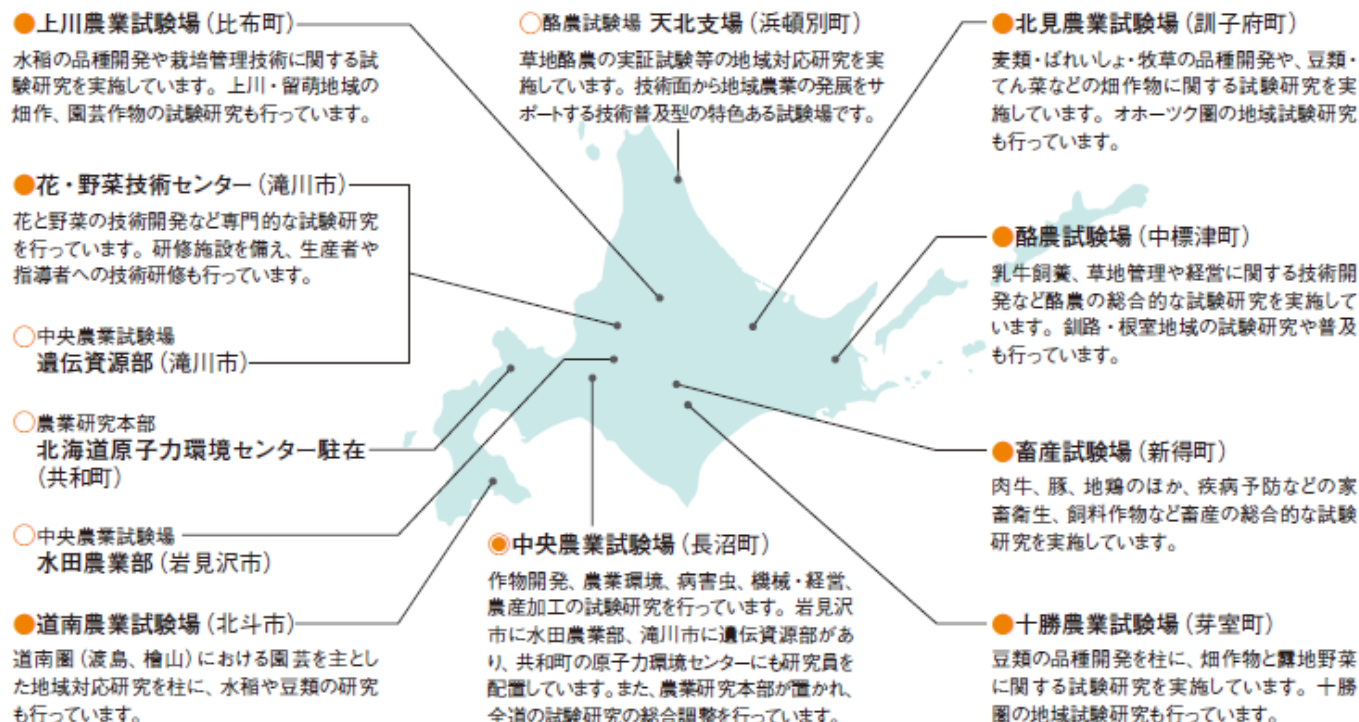
研究本部HP



北海道の各地域に適した作物や栽培技術の開発、家畜の育成や飼養技術の開発、食の安全やバイオテクノロジーに関わる試験研究などを行っています。

組織機構

●研究本部設置場所



最近の主な研究開発

「日本一の米どころ北海道」の実現に向けた 水稻新品種の開発促進Ⅱ(上川農業試験場ほか R7～R11)

極良食味・多収・低コスト・省力栽培など、優れた品種の育成や栽培技術を開発することで「日本一の米どころ」を目指します。

衛星画像による大規模草地の植生判別法の開発 (酪農試験場ほか R5～R7)

光学センサ搭載の衛星画像を利用し、牧草割合を正答率70%で判別できる方法を開発します。

ネオニコチノイド系殺虫剤に依存しない水稻栽培のための 防除体系の確立(中央試験場ほか R6～R8)

環境への影響が懸念されているネオニコチノイド系殺虫剤を使用しないで重要害虫(アカヒゲホソミドリカスミカメ、ヒメビウンカ)を防除する技術を開発しています。

養液栽培技術の高度化とナスにおける活用技術の開発 (上川農業試験場 R6～R8)

簡易な給排水モニタリングシステム及び日射比例灌水システムを開発し、ナスの養水分管理指針を提示します。

搾乳ロボット導入農場における生乳の生菌数増加要因の 解明と低生菌数を目標としたモニタリング手法の確立 (酪農試験場 R6～R8)

搾乳ロボット導入農場において、生乳中の生菌数を適切に維持するためのモニタリング手法を開発します。

農業生産における温室効果ガス排出量の見える化と 評価手法の確立(中央農業試験場ほか R6～R8)

主要な農作物の生産工程における温室効果ガスの排出量を推計し、見える化します。また、温室効果ガス排出量の評価手法を高度化し推計マニュアルを更新します。

